



勝浦市ゼロカーボンシティ宣言

近年、国内各地では、猛暑や豪雨など、地球規模での温暖化が原因とみられる異常気象による災害が多発しており、もはや「気候危機」と言うべき深刻な状況にあって、四季折々の美しい自然が彩る我が国の気候風土が脅かされつつあります。

こうした状況を踏まえ、国は、2020年10月に、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにし、脱炭素社会の実現を目指すと宣言しました。また、2021年4月には、2030年度に、温室効果ガスを2013年度比で46%削減することを目指すと表明しています。

観測史上一度も猛暑日を記録したことがない本市においても、市民、事業者、行政が一丸となり、省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用を強力に推進し、郷土の豊かで美しい自然や気候を次の世代に引き継ぎ、快適度日本一を実現するべく、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

2024年6月3日

勝浦市長 照川由美子